

第8回なんすん茶業者大会

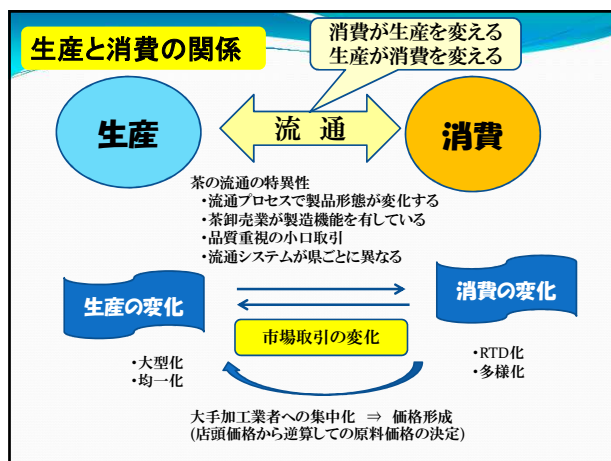
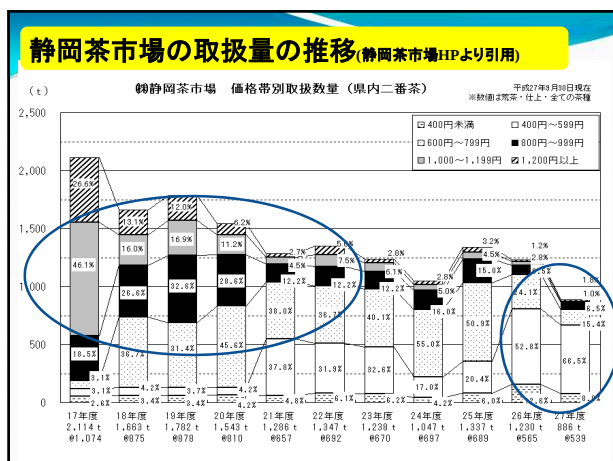
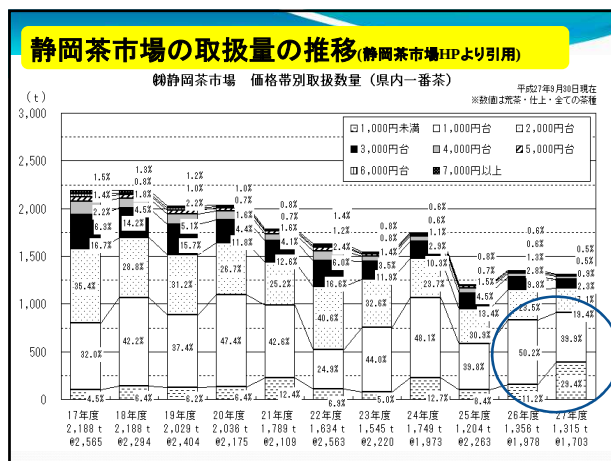
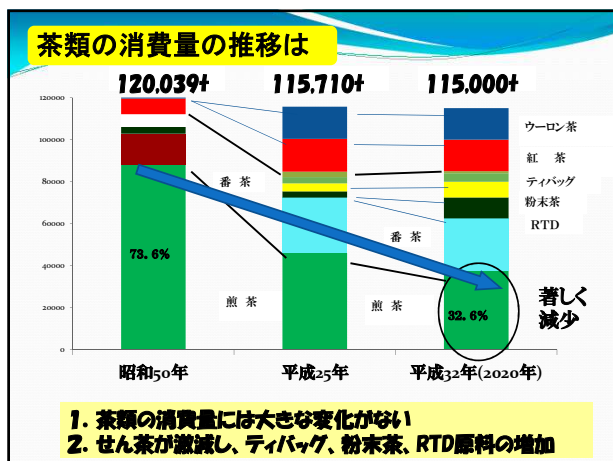
変貌する茶業情勢下における なんすん産地戦略は!

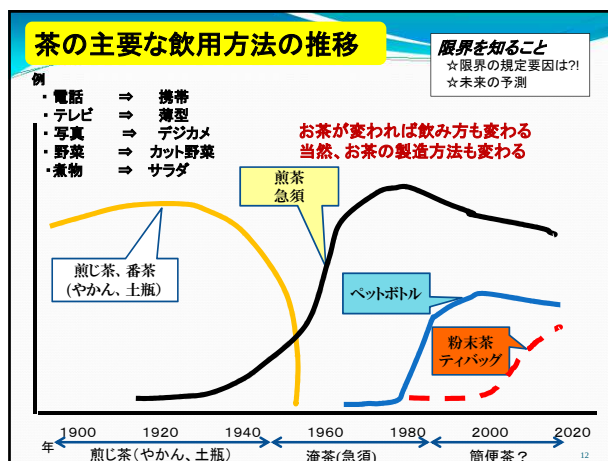
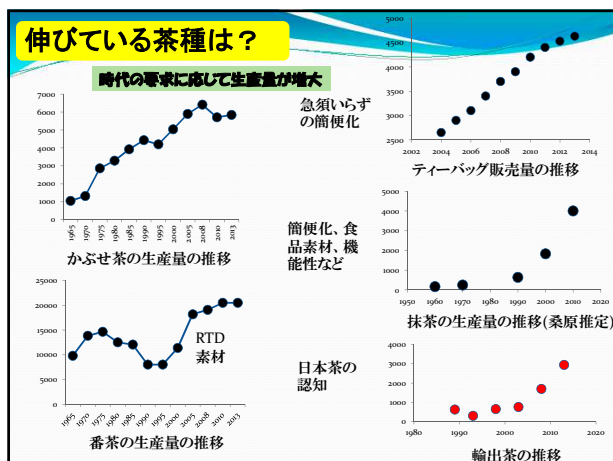
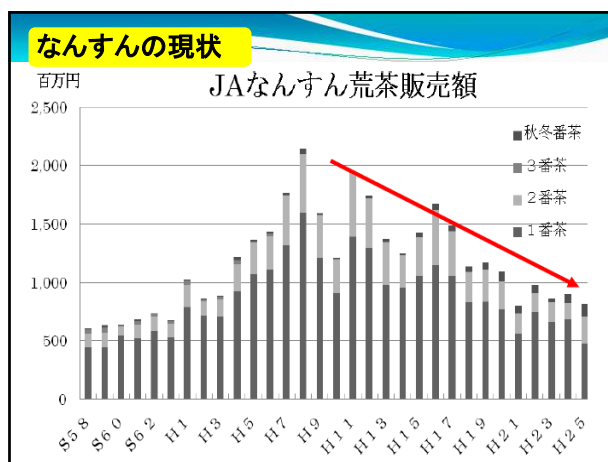
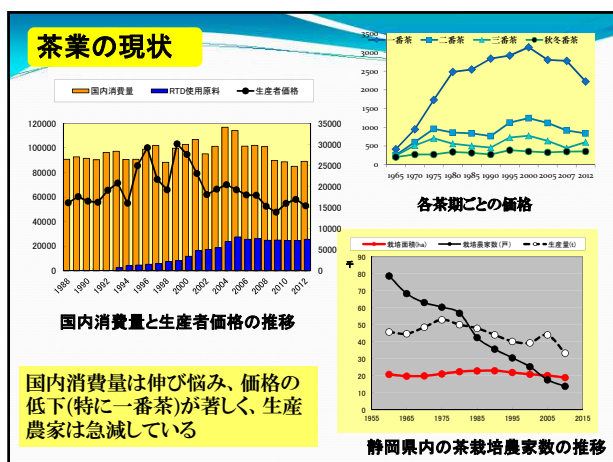
静岡県立大学 中村順行

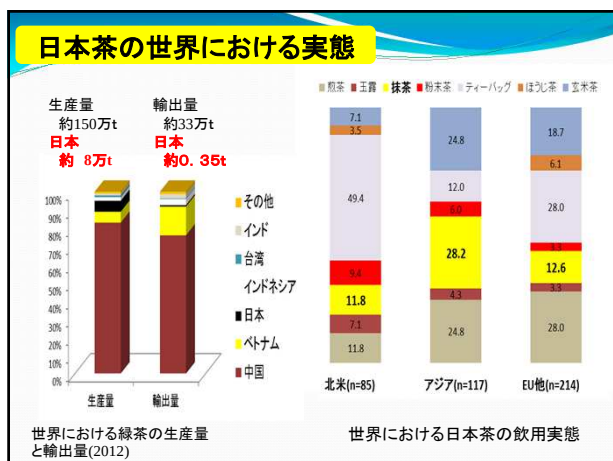
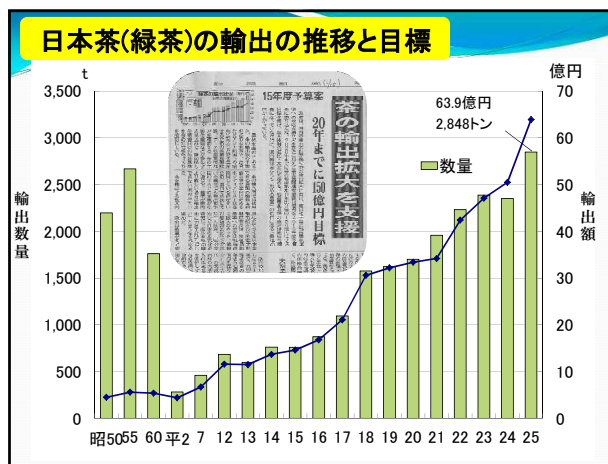
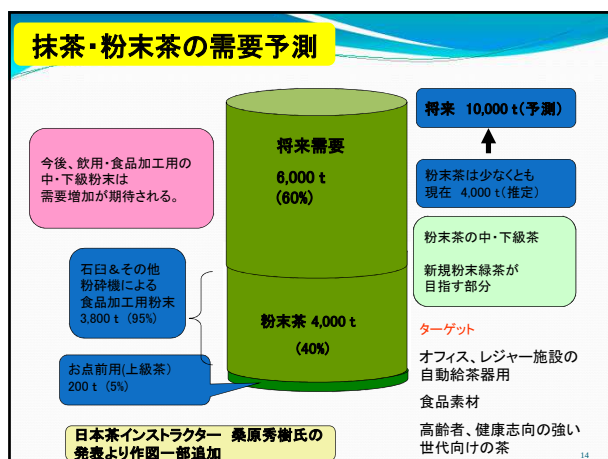
新しい茶業に挑戦することが必要

賛詞交歓会 (Keyword) 変化を捉えよ!!

ダーウィン
生き残るのは最も強いものでもなく
最も知力に優れたものでもない
最も変化に適應できるものである



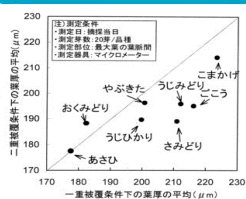




てん茶用品種の特性

茶道用(加工用ではない)

1. 葉が薄いこと
2. 葉脈が柔らかいこと
3. 被覆特性に優れていること
4. 30日被覆で、収量が確保できること
5. 肥効がよいこと
6. 自然仕立てで芽摘みが良いこと
7. 摘いたときの色は緑が鮮やかで濃いこと
8. 味は、アミノ酸が多く、のど越しが良いこと
9. 点てたときの泡立ちが良いこと など



全国茶品評会におけるてん茶用品種の評価

全国茶品評会における「てん茶の部」の審査結果

品種名	一等		二等		三等		等外	
	第69回	第67回	第69回	第67回	第69回	第67回	第69回	第67回
あさひ	4	5	8	6	8	13	33	25
うじみどり	1	1	2	4	4	1	4	1
成里乃					2	2	1	3
さみどり			1		1	1	29	31
さえみどり							5	4
やぶきた							2	10
やまかい							1	1
ごう								1

※ 表内の数字は該当点数

※ 第69回(平27)は静岡大会、第67回(平25)は京都大会

フランド用品種:あさひ、うじみどり

高収益性品種:さみどり、さえみどり、おくみどり

加工用粉末茶:やぶきた、ごうなど

※経営力を高めるためには、高品質抹茶と多収性品種を用いての中級(?)抹茶の両者の組み合わせが重要。

静岡抹茶の生産には

1. 品種の利用、選定
2. 栽培技術の確立
(施肥、整せん枝)
3. 被覆技術
(直接被覆、資材、機械化)
4. てん茶製造法



遮光による被覆特性の品種間差異(茶研セ)

参考:白葉茶を狙っての強遮光処理

被覆による葉色の変異には品種間差異がある

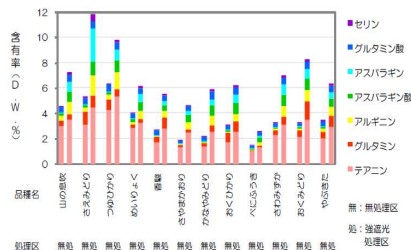
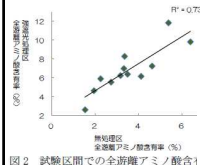
品種名	無被覆区	強遮光処理区	無処理区に対する強遮光処理区の収量性	
			葉色(SPAD値)	%
山の恵吹	30.1	9.7	45.8	
さえみどり	33.7	13.5	80.8	
つゆひかり	35.4	12.9	35.8	
めいりよく	42.2	9.7	32.7	
響龍	39.5	15.0	40.4	
さやまかおり	44.7	17.5	32.0	
かなやみどり	42.8	16.9	28.6	
おくひかり	43.6	15.5	24.8	
べにふうき	42.1	10.5	24.5	
さわみずか	40.2	13.6	32.5	
おくみどり	43.3	13.8	31.1	
やぶきた	35.5	11.8	42.3	

茶研セのデータを改変



遮光による被覆特性の品種間差異(茶研セ)

- ★無処理でアミノ酸含量の高い品種は被覆をしても高くなる。
- ★被覆により、アミノ酸含量の高まる割合には品種間差異がある



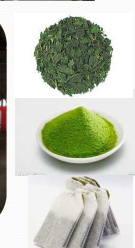
新型てん茶機ハイブリッドライン(カワサキ機工)



高温加湿熱風炒茶機



ネット乾燥機



てん茶炉(寺田製作所)



碾茶炉



予算も上手に活用しよう

平成27年度補正予算

1. 茶輸出特別支援事業

茶の輸出を拡大するため、茶葉の乾燥を短時間で効率的に行うための新たなてん茶加工技術の実証や緑茶生産において使用される主要な農薬について、輸出相手国に対し日本と同等の基準を新たに設定申請する取り組みを支援する(補助率:1/2以内)

関連対策事業

産地パワーアップ事業

地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲ある農業者などが高収益な生産体制への転換を図るための機械・施設の導入などを支援する(補助率:1/2以内)

平成28年度予算

1. 地域の戦略に基づく茶園の改植、整理等支援
2. 輸出拡大、国内マーケットの創出等に向けた取り組み支援
3. 生産コストの低減、生産体制強化への取り組み支援

お茶で儲かる!!!

このままでは自然消滅
⇒ **変化が必要**

1. 現状を把握する

ひと、生産方式、工場運営、茶業界、商品、消費者、流通、など

2. コンセプトを明らかにする

どのようにしたいのか(止めるのか)
いくら儲けたいのか

最重要

3. 事業を実現するためのデザイン化

コンセプトを実行するために行うべきこと
そのための取り組み

チャレンジあるのみ!!!

4. スケジュールの作製

何を一番に取り組むのか、いつまでに行うのか
何を捨てるのか

5. アイデアを出す

スケジュールを実行するためのアイデアを出す
まずは行動ありき
がむしゃらに突き進む

6. 組織を創る

行動を効率化するための組織を創る
数値で行動が判断可能な組織とする